

## 丹精込めた菊、華やかに

30日、「子育て厄除八幡さま」として親しまれている大宮八幡宮（杉並区大宮2-3-1）の境内で、毎年恒例の「杉並大宮菊花展」が開催され、七五三詣などで訪れた人たちを楽しませています。

毎年、大宮八幡宮には区内外から多くの七五三詣の家族連れで賑わいます。そして、この七五三詣の季節には、大宮八幡宮の氏子を中心に地域の愛好家の集まり「大宮菊の会」の菊花展が開催されてきました。今年も、10月25日から11月26日までの期間で、第39回杉並大宮菊花展が始まりました。

菊の花を咲かせるためには、1年を通して作業が必要で、大宮菊の会の五本木徳治会長はじめ会員は、さし芽から消毒、施肥、土づくり、肥料など、1年を通して丹精込めて栽培しています。こうした作業の結果、200鉢を超える見事な菊が並んでいます。大輪の花を咲かせる厚物（あつもの）、花弁が管状になっている管物（くだもの）、葉を鉢よりも大きくして花を咲かせる福助など、白・紫・黄色・桃色の鮮やかな菊が、その美しさを競っています。



菊花展の開催期間は、七五三詣の時期に重なるため、「7」「5」「3」の数字を形づくった、“文字菊”が展示されています。ここでしか見られない珍しい細工物です。数字を形作っているのは、たくさんの小さな黄色い菊の花ですが、それぞれの数字はたった1本の菊から造られています。この「7・5・3」の菊の前が、七五三詣の記念写真の絶好の撮影ポイントとなっています。厚物や管物は、今が見ごろですが、文字菊などはこれから開花する状態で、11月中旬頃まで楽しめます。

### ■第39回杉並大宮菊花展

【場 所】 大宮八幡宮（大宮2-3-1）境内

【開催期間】 11月26日（日）まで（入場無料）

【交 通】 京王井の頭線「西永福駅」下車徒歩7分

### 【問い合わせ先】

総務部広報課：03-3312-2111（代表）